



NME News

Nutritional Management Expert News

栄養経営士のための情報紙

2025
3月号

●発行/一般社団法人
日本栄養経営実践協会
(JANMP)
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-20-5
S-GATE八丁堀9階
●制作/株式会社日本医療企画

お問い合わせ先/一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 <http://nutrition-management.jp>

「栄養経営士」資格認定基礎講習 新しくオンデマンド講座が登場



「栄養経営士」の資格認定試験において受験要件になっている「栄養経営士」資格認定基礎講習(以下、基礎講習)に、新しくオンデマンドで視聴できるWEB講座が誕生した。宮澤靖代表理事が講義を行うスタイルは会場と同様で、ネットがつながれば視聴は場所と時間を選ばないので会場とオンラインの良いところ取りになっている。

宮澤代表理事の熱い講義が いつでもどこでも受講可能に



基礎講習は会場開催(現地およびオンライン)とDVD視聴の二本立てであったが、今年度からWEB講座(オンデマンド配信)が追加された。WEB講座は「ネットがつながればいつでもどこでも視聴可能」なので、時間や場所の制約がなくて基礎講習が受講できなかった人たちも参加可能となり、「栄養経営士」受験への門戸が大きく開かれることになる。

受講詳細

講習料: **8,500円(税込)**
※会員は5,100円で受講できます
開催日: 通年(随時受付) 受講期間: 3カ月
時間: 約180分

- ### ◆講義内容
- #### 「栄養経営士」に必要な能力について
- 1.なぜ、今栄養部門が重要になっているのか
 - 2.自分が勤める栄養部門の現状分析
 - 3.具体的な目標設定と達成に向けた実践的アプローチ
 - 4.部門の業務の質を高めるためのアウトカム指標とは
 - 5.「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
 - 6.病態把握能力と臨床栄養教育

また、WEB講座はオンデマンド方式で提供されるので、3カ月の受講期間内であれば、毎日でもくり返し視聴可能である。動画は6つのセクションに分かれており、最初から最後までくり返し見ること、気になるところだけを重点的に見返すこともできる。通勤や移動の間隙時間に、早く起きた朝活の時間にと自分の好きなタイミングで学習できるのも便利なポイントだ。

また、今までの基礎講習同様、すでに「栄養経営士」の資格認定基礎講習を受講している人も割引価格で受講可能である。管理栄養士を取り巻く現状を知りたい人や、日々の業務がルーチン化しモチベーションの低下を感じている人は、ぜひこのWEB講座で宮澤代表理事の熱い講義を受けていただきたい。

一人でも多くの管理栄養士が「栄養経営」を学び、栄養部門の業務やマネジメントに活かしていただけることを願っている。

栄養経営士資格認定「基礎講習」が 新しくなりました! WEB講座開講!

「WEB受講(オンデマンド)」を新設、受講期間中はいつでも何度でも視聴可能になりました! ご都合に合わせてお好きな講座をご受講ください。

- | | |
|--------------------------|--|
| WEB講座
(オンデマンド) | ●開催日: 通年
●時間: 約180分
●受講期間: 3カ月(期間中はいつでも視聴可能) |
| 会場講座 | ●開催日: 未定(決定次第お知らせします)
●時間: 10:00~17:00 |
| DVD講座
(在庫僅少) | ●開催日: 通年
●時間: 約190分(特典映像含む)
●受講期間: 6カ月(レポート提出期限) |

講習料は
各講座共通
8,500円(税込)
※現在会員の方は
5,100円(税込)で
再履修可能!



お問い合わせ先
一般社団法人
日本栄養経営実践協会 事務局
TEL:03-3553-2903(平日10~12時/14~18時)
Mail: info@nutrition-management.jp

▼申込み

栄養経営士 活動報告

学会発表はこわくない！ 迷っているならぜひ口頭発表しよう

福岡みらい病院栄養科で部署長を務める河津沙耶香さん(福岡みらい病院 栄養科は、2025年2月14・15日に開催された日本臨床栄養学会(JSPEN2025)で初の学会発表を行った。なぜ初めての発表にJSPENを選んだのか、準備の様子や実際に発表してどう感じたのかを取材した。

取りたい資格のために 学会発表を決意

河津さんがJSPENでの発表を決めたのは資格取得を考えてのことだった。

「NST専門療法士の次に取ろうと考えた、がん専門療法士の資格要件に『筆頭演者での学会発表が1回以上』とあったので、どうしても発表する必要がありました。もともと病院の事務長から部署目標として学会発表を勧められており、スタッフに勧めるためにはまず自分がやらなければ、という思いもあつたので、良い機会だと考えて応募しました」

初めての発表が全国規模の大会というのはかなりハードルが高いのではと感じるが、河津さん曰く「発表者が少なく、近隣の病院の人が多数参加する地方会は緊張するので、知らない人が多い全国大会のほうが気が楽だと考えました」。

資格取得の要項では

「発表はポスターでも口頭でも可」とあつたので、JSPENに抄録を送るときは「どちらでも可」に○をつけて提出。「口頭になったら覚悟を決めよう」と思っていたところ、口頭で採択され「もう心を決めるしかない」と腹をくくり、発表の準備を進めたそうだ。

部署の仲間と家族の協力で発表準備を進める

学会発表を決めたとき、河津さんが悩んだのは発表内容だった。「今の病院で10年、あ

りがたいことにずっと責任者を務めていた特定の病棟を受け持たず、人手が必要なところに入るため、ひとつの症例を追い続けることができません。そこで、栄養科として携わった、緩和ケア病棟の立ち上げとその過程

について発表しようと決めました」

立ち上げの際に、参考しようと思隣病院の緩和ケア病棟へ見学に行ったものの、すでに「できあがって」いたため、そこに至るまでの過程がわからなかった。ならば「その過程を発表すれば誰かの参考になるのでは」と考え、発表内容が決まった。

それからはずっと、通勤時の車の中で骨子を考え、言いたいことを思いついたらメモ代わりにも携帯に録音する日々だった。

「内容を考えていた期間が一番長くて、スライド資料等は本腰を入れてつくりはじめてから2カ月くらいで完成しました」

資料のつくり方や発表の仕方は発表経験の豊富な部下に教わるなど、部署スタッフにも協力してもらった。

日中は病院での業務があり、夜は自宅で家事・育児が待っている河津さんにとって、一番苦労したのは時間の捻出だったという。

「家ではできないので、わざわざ『今日は残業で遅くなるから』と言って家事を任せ、病院に残ってスライドをつくりました」

職場の仲間はもちろん、家族の協力なくしてはできなかった学会発表だったようだ。

コロナ罹患で準備不足ながら無事に発表終了

そうして順調に進んでいた発表準備だったが、発表直前の2月に

入ったところで、河津さんがコロナに罹り予定が狂ってしまった。「予行演習で部署のスタッフに聞いてもらおうと時間をつくってもらっていたのに、1週間、職場に出られませんでした」

ちょうど臨地実習の受け入れもしており、出勤できなかつた分の仕事も溜まっていたこともあって、あまりの激務でそこからJSPENまでの記憶がほぼないという。



質疑応答では座長から演者に質問が飛ぶことも

じ、要件が満たせるならポスターでも良いと思っていました。しかし、発表を経験した今では『発表するならば、絶対に口頭のほうが良い』と思っています」

「口頭でもポスターでも内容は変わらないし、準備の大変さには大きな違いはない。ならば、口頭発表のほうが資料の用意が楽だし、一度発表してしまえば終わりでだし、経歴としても箔がつく。」

「それに、JSPENや日本病態栄養学会のような大会であれば、参加者が多い分、全体に占める自分の発表の割合は小さくなりやすい。言い方は良くないかもしれませんが、万が一失敗しても、何百とある演題のうちの一つでしかない。そう考えると、参加者が少なくて一人の比重が重くなる地方会に比べて、断然気が楽です」

じつは、発表前の2024年12月の栄養

経営士オンラインサロンで「学会発表時の注意事項はありますか?」と質問した河津さん。理事の先生から時間厳守や質疑応答の練習等のアドバイスとともに教わった、想定外の質問を受けたときの「魔法の言葉」「ご指摘ありがとうございます。今後の検討課題にしたいと思います」を知ることで、落ち着いて質疑応答に臨めたそうだ。

「これから考えている人は、ぜひポスターより口頭で、地方会より全国規模の大会での発表をお勧めします。悩んでいるなら『魔法の言葉』を握りしめて、管理栄養士のうちに経験して欲しい。とにかく、一度やってみる、ということが大事だと思います」

河津さん自身もまた大会での発表を考えており「次に出るときは発表内容をしっかり覚えて、原稿を見ずに発表したい」とリベンジに意欲を燃やしている。その際は、ぜひまた取材させていただきます。ニュースでご紹介できれば幸いです。



JSPENの口演で演台に立ち河津沙耶香さん

★新会員サービス「オンラインサロン」 大好評開催中!

失敗も挫折も「成功への過程」、大きな屈伸が大きな飛躍につながる

本協会の栄養経営士・栄養経営サポーターのみが無料で参加できる「オンラインサロン」。第42回は2月19日(水) 18:30より行われました。この日は宮澤靖代表理事と田中智美理事が出席し、参加者からの質問に対しみんなで意見を出し合いました。

失敗は星の数ほどあるけれど目標は失わない

この回は質問のあとに、参加申し込み時に募集した「こんな話を聞いてみたい」のなかから「仕事での挫折はありますか?」というテーマで話し合いました。

最初に話を聞いた田中理事は「いっぱいあります。ありすぎて思い出せない感じ」と笑って答えながらも「ただ、失敗や恥は星の数ほどあるが、挫折かといわれるとそうではない気がする。気力を失った瞬間はあるけど、目標は失っていない。そう考えると、自分の中では『挫折ではない』と思っているかも」と説明しました。

さらに「自分は、なぜ失敗したのかを分析したら次の日には『こうしてみよう』と考え始めるタイプ。失敗の原因を自分に求め、他人のせいにはしないようにし、そこから自分で前に進むこと意識してきた」と、立ち直る際の考え方についても話しました。

そんな田中理事が唯一、挫折を感じたのは、まだ宮澤代表理事が所属されていたときの近森病院にいったときだったそう。「近森病院で臨床をやっている管理栄養士がすごくまぶしくて、自分もそうあったら素敵だなと思った。でも自院ではこまではできない。こんなことを教えてくれる医師もいないし、自分も教えられないと思っていたら、宮澤先生に『近森だからできるんじゃない、やるかやらないかだ』と言われて…わかってるけど、それができないんですと涙が出た」。

しかし、北海道に戻ってから、何をすれば自院でもできるのかを考えて実行することで、今の29名を擁する栄養部にまで大きく成長させることができたそうです。それを思えば「そのときの挫折のおかげで今がある」と感じている」と感慨深く語りました。

「うまくいかない」と愚痴を送った 師匠からの言葉で価値観が変わった

宮澤代表理事は「話すところから6時間ぐらいかかりますけどよろしいですか?」とおどけつつ、「挫折なんて

山ほどある。失敗や挫折がなければ成功もない。成功している人は誰よりも失敗もしている」と語り、「失敗から得た学びは2つ。100回叩けば壊れる壁を99回であきらめる人が多い。やり続けているからこそ成功があり、途中でやめるから失敗・挫折になる。もうひとつは、成功するまでやり続ければ挫折も失敗もないということ」と伝えました。

宮澤代表理事がそう考えるようになったのは近森病院に着任して2~3年目のことで、当時の近森理事長のバックアップのもと、年間7~8人ずつ管理栄養士を増やしながら部署を拡大していたときでした。「徹底的に臨床を叩きこんで、医療従事者としてのマインドも叩き込んで…というときに、うまくいかないことがたくさん出てきた。『なんでこれができないのか、このスタッフでは無理なのか』と思い悩み、自分を育ててくれた人に聞いてみようと、アメリカ留学時の師匠にメールを送ってみた。ここがうまくいかない、あれが思い通りにならないとA4の紙5~6枚分になるくらい愚痴を書いて送ったら、返ってきた返事がたったの2行だった。書かれていたのは『うまくいってないんだ。だって、うまくいく途中だからね』。これを読んで、そうか、とって考え方が変わった。今でもいっぱい失敗はあるが『途中なんだから仕方ないよね』と良い意味で開き直れる助言をもらった。これが大きな学びだった」と自分の考えが変わった恩師からの一言を紹介しました。

挫折が自分の価値観を考え直すきっかけに

最後に、このテーマを「聞いてみたい」と書いた先生もカメラで登場し、自身の経験を語りました。

質問の先生は、2年程前に職場の後輩が適応障害となって退職、部署長としてできることを、とがんばった結果、自身も適応障害になって休職することになりました。大好きだった仕事が楽しめなくなり、「お金のためだけに働けばいいか」とまで思うようになったそうです。その後、現在の勤務先から声をかけてもらい、今はとても仕事が楽しく、モチベーションも上がってきているとのことでした。「挫折しているときはつらさに気づけず、なんでこんな思いをしているのかと思っていた。でもこれが自分の価値観を考え直すきっかけになり、なぜこの仕事を選んだのか、何がしたいのかを改めて

考えることができたので、すごくよかった」と話し、「カウンセリングを受ける側になったことで、自分が栄養指導する際の参考になったし、共感というのはどういうことかを学ぶこともできた。挫折があったから気づけた感覚」と挫折が糧になったことを語りました。

「大きな飛躍の前には大きな屈伸が入る。それがあから、伸びていける。そうしたことが、先生方にもあるのかな?」と思いながら聞いていた」とのことでしたが、理事の先生方のお話が少しでも参考になったでしょうか。

悩みがあると周囲が見えなくなり、狭い世界で自分の行動に制限をかけてしまうこともあります。悩んだときにはひとりで抱え込まず、ぜひ周囲の人に話を聞いてもらってください。もちろん、事務局やオンラインサロンにお送りいただいてもOKです。ぜひ活用してくださいね!

「オンラインサロン」は今後も月に1回のペースで実施する予定です。全国の栄養経営士や理事の先生方と直接交流できる、会員ならではの貴重な機会ですので、ぜひ奮ってご参加ください。

▼2月19日(水)の話題

- ・JSPEN2025の参加報告
- ・主治医が変わった時の栄養指導は?
- ・NST業務のクリニカルラダーにアドバイスを
- ・部下が発達障害かも…どう対応すれば?
- ・土日、祭日の日直体制はどうしてる?
- ・仕事での挫折はある?

■栄養経営士 オンラインサロン

- ◇開催日時: 6月30日 18:30~20:00
- ◇参加対象: 栄養経営士・栄養経営サポーター
- ◇参加費: 無料
- ◇開催形式: オンライン配信 (Zoom)

※お互いの顔を見ながら会話をするので、カメラ・マイク機能が使えるパソコン・タブレット等をご用意ください
※後日、アーカイブ配信もあります
※個別の症例の相談にはお答えできません



日本医療経営実践協会
北海道支部主催2025
シンポジウム

医療経営士&栄養経営士合同セミナー

~持続可能な医療経営への挑戦: 物価高騰下での栄養管理と経営最適化の探究~

物価高騰や食材費上昇の課題に直面する医療機関の経営最適化と栄養管理の連携について概説するとともに、現場での具体的な対応事例や効果的な戦略、持続可能性への展望を探ります。また、経営と栄養の両面から見たコスト管理がもたらす医療の質向上や患者満足度向上の可能性についても議論を展開します。



基調講演

みやざわ やすし
宮澤 靖氏

2025年
7月5日(土) 14:00~17:00

- ◎開催方法: 会場、Zoom ※Zoomはセミナー部分のみ
- ◎会場: 札幌パークホテル (札幌市中央区南10条西3-1-1)
- ◎定員: 会場は50名まで
- ◎参加料: 栄養経営士/医療経営士:1,500円 一般:2,000円

◎プログラム

- ①基調講演「今こそ実現する! 医療経営と栄養経営の相乗効果」
宮澤 靖(東京医科大学病院 栄養科 科長/日本栄養経営実践協会代表理事)
 - ②医療経営士のプレゼン「各部門の業績を見える化する取り組み」
平間康宣(医療法人仁友会法人本部長/医療経営指導士)
 - ③医療経営士×栄養経営士トークセッション
「医療経営士×栄養経営士の相乗効果で探る持続可能な経営モデル」
※Zoomの配信はここまで
 - ④新合格者の紹介(医療経営士&栄養経営士)
※会場では情報交流会(17:30~、別途会費4,000円)も開催予定
- ◎トークセッション登壇者
今野厚宏氏(社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科部長/医療経営士)
田中智美氏(医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 栄養部部長/栄養経営士)

▶お申込みはこちらから



栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのため貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※イベント参加申込の際は必ず最新情報を確認してください。

オンラインセミナー情報

自分らしいキャリアの創り方 ～医療刑務所管理栄養士のサクセスストーリー～

「受刑者が食事をつくっている」という医療刑務所での食生活や、管理栄養士としての熱い思いを、「めざせ! ムシヨラン三つ星」著者であり、岡崎医療刑務所で管理栄養士をしている黒柳桂子氏が語るセミナーです。

- 日 程：2025年6月29日(日) 10:00～11:30
- 講 師：黒柳桂子氏(岡崎医療刑務所 法務技官 管理栄養士)
- 参加費：【一般】2,000円
- 形 式：オンライン ※アーカイブ受講あり
- 定 員：50名(先着順)
- お問い合わせ：愛知県栄養士会 域活動部会 研修会担当
Mail：aichikatsu23@gmail.com



学会情報

第57回 日本動脈硬化学会総会・学術集会

動脈硬化克服に向け「多職種によるワンチーム」で取り組むための一助として「動脈硬化学の未来 Joy of Fatty Acid Secrets ～血管から臓器病態へ～」をテーマに開催されます。基礎・臨床・社会学など、幅広いプログラムが予定されています。

- 日 程：2025年7月5日(土)・6日(日)
- 会 長：島野 仁(筑波大学 医学医療系)
梶波康二(金沢医科大学医学部/帝京大学医療技術学部)
- 参加費：【メディカルスタッフ/非会員】6,000円(消費税込)
- 会 場：つくば国際会議場
- お問い合わせ：株式会社サンプラネット
メディカルコンベンションユニット
Mail：jas57@sunpla-mcv.com



セミナー情報

第21回 管理栄養士のための基礎医学 浮腫や脱水と栄養の関係/栄養カウンセリング

管理栄養士に必要な基礎医学を学び、他職種との連携を円滑にするための講座です。第21回は2部構成で行い、第1部は講座①「浮腫や脱水と栄養の関係」、第2部は講座&実践②「『頑固な高血圧の患者』や『言い訳が多い糖尿病の患者』の栄養カウンセリング」を学びます。

- 日 程：2025年7月19日(土) 10:30～16:30
- 講 師：三浦公志郎氏
(北九州宗像中央病院医師(内科)、公認心理師)
- 参加費：【会員】7,000円 【一般】8,000円
- 会 場：第三博多借成ビル503(博多区博多駅南1-3-6)
- 形 式：会場+オンライン
※WEB視聴(リアルタイム配信)も同時開催
- 定 員：40名(会場は8名まで)
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画九州支(担当:中野)
Mail：m-nakano@jmp.co.jp



協会事務局より

2025年8月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年8月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内をメールでお送りしております。対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※用紙での手続きを希望される方は、事務局までご連絡ください。

- 年度会費：有効期限が2024年8月20日～2025年8月19日の方
【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：会員資格が2023年8月20日～2025年8月19日の方
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- 支払期限：2025年7月19日(土)
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL：03-3553-2903

2025年「栄養経営士」資格認定試験はIBT方式で開催中です!

「栄養経営士」 資格認定試験

- 試験日:毎日受験可能
- 受験料:9,500円(消費税・システム利用料込み)
- 実施方法:IBT(Internet-Based Testing)方式
※インターネットを經由スマートフォン、タブレット端末、パソコンを使用して受験
- 受験エントリー期間:通年
- 受験資格:管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は
WEB・DVDによる受講も可能です!

DVD受講は3枚組、特典映像
「近森病院に学ぶ実践マネジ
メントのすべて」付き

くわしくは

🔍 栄養経営士

検索

